

大成ファイブ ケミカルなど 災害時支援で連携

【千葉】大成ファイブ市、稲生豊人社長、07）は、ニユートン・ケミカル（千葉真旭 479・64・207

コンサルティング（東京都千代田区、副島一也社長）、生田（東京都瑞穂町、生出治社長）と災害発生時に物資や人材を参加企業内で互いに供給する協定を結んだ。食料品など一般的な支援物資が対象のため、自社の事業活動に影響なく支援でき、業種や企業規模によらず連携できる。

今回結んだのは「BCPフレンドシップ協定」。食料品や医薬品などの物的援助、避難者受け入れやボランティアの派遣、小型発電機の貸し出しなどを通し、企業活動の継続や早期復旧に必要な支援を行う。備蓄品リストを共有し、1社では不十分となりがちな災害対策を補いあう。

事業継続計画（BCP）対策として地域や同業者、取引先と協定を結ぶ企業が増えているが、あえて利害関係のない企業間で連携すること、平常時から情報共有がしやすくなることを考えた。「BCP対策に関する他社の取り組みを学ぶ機会は少

ない」（稲生社長）として、協定を結ぶ会社間で事例を紹介しあう場や工場見学会も予定する。